

平成23年3月期 決算説明会資料

株式会社ユビキタス

代表取締役社長 三原 寛司

© 2011 Ubiquitous Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous makes no warranties, express or implied, in this summary.



Ubiquitous

Agenda

- 震災の当社への影響について
- 平成23年3月期業績の概要
 - 経営成績、財政状況、キャッシュフロー
- 製品分野別動向
- 平成24年3月期の業績予想
 - 新規事業のための取り組み紹介

東日本大震災の当社への影響について

今回の震災で被災された皆様に
謹んでお見舞い申し上げます。

- 当社人員、設備などへの**直接的な影響なし**
- 取引先企業の被災による生産遅れの影響、
及び消費の低迷による**ロイヤルティ収入減**
を予測
 - 平成24年3月期、特に上半期へ影響
- 貢献策
 - マッチングギフト制度を実施
5,752,000円を寄付

業績の概要

平成23年3月期通期の概況

過去最高の売上高、利益達成

- 売上高は、前期比22.7%増の約14億2千万円と過去最高
- 営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高達成
- 売上高経常利益率46%を達成
- いずれも本年2月4日発表の上方修正予想を上回る

分野別概況

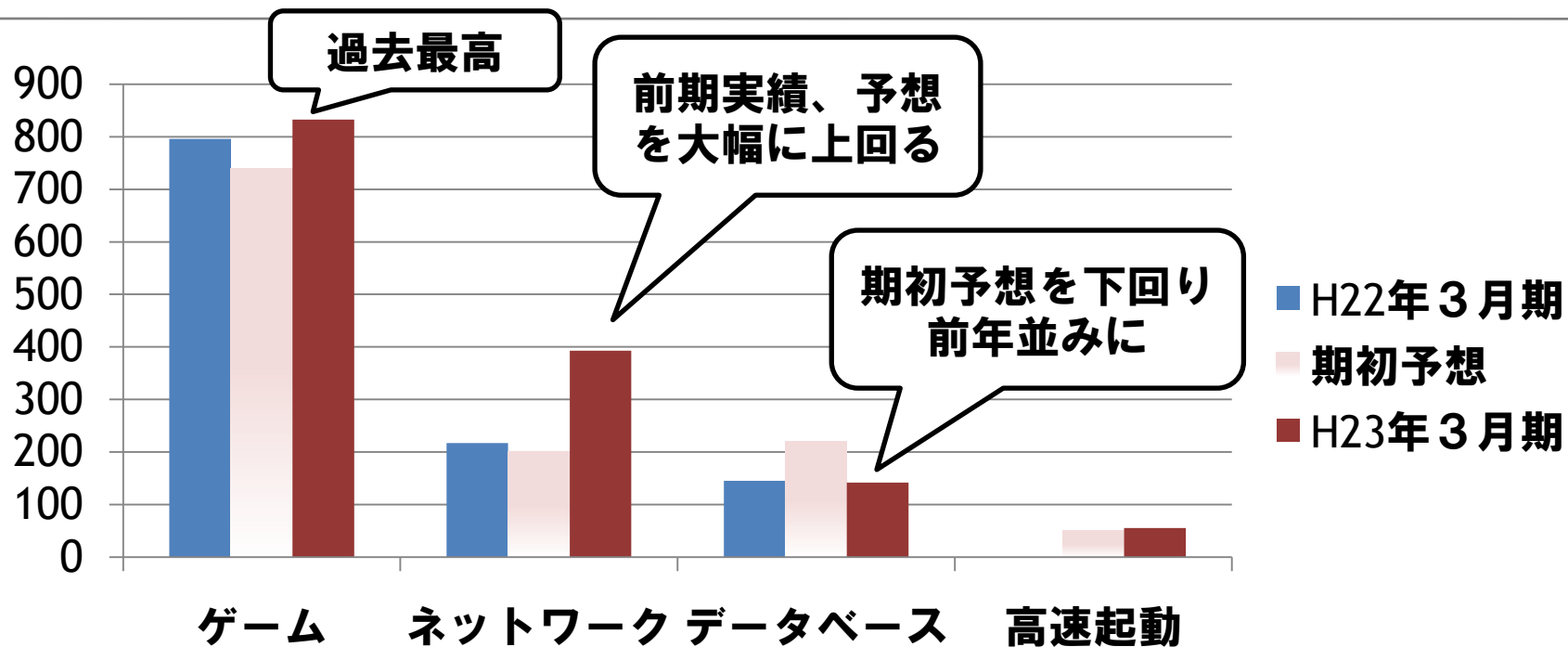
- ネットワーク関連：
 - ・ゲーム分野：人気タイトルと新機種向けの一括売上により、過去最高
 - ・ネットワーク分野：量産ロイヤルティ拡大などにより期初予想を上回る
- データベース関連：
 - ・デジカメの量産ロイヤルティが伸びるが、期初予想達成できず
- 高速起動関連
 - ・評価実装案件が継続するが、事業進捗に遅れがみられる

通期業績の概要

単位 (百万円)	22年3月期 通期実績	23年3月期 通期実績	前年同期比	23年3月期 通期予想 (2/4修正)	予想比
売上高	1,159	1,422	+22.7%	1,320	+7.8%
営業利益	463	653	+41.1%	560	+16.7%
経常利益	470	653	+38.9%	560	+16.8%
純利益	183	382	+108.3%	336	+13.8%
一株純利益 (円)	2,195.18	4,505.16	+105.2%	3,931.11	+14.6%

- 節目となる第10期に過去最高の売上と利益を達成
- 第4四半期のロイヤルティ収入が引き続き堅調により予想を上回る

製品分野別売上高



単位(百万円)	H22年3月期	構成比	期初予想	H23年3月期	構成比
ゲーム	796	68.7%	740	833	58.6%
ネットワーク (ゲーム以外)	217	18.8%	200	393	27.7%
データベース	145	12.6%	220	140	9.9%
高速起動	—	—	50	55	3.9%

貸借対照表（資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成23年3月31日 （当事業年度末）	平成22年3月31日 （前事業年度末）	増減額
流動資産	2,249	1,417	832
現金及び預金	1,792	1,018	773
売掛金	401	345	56
その他	56	53	2
固定資産	340	657	△316
長期預金	—	300	△300
その他	340	357	△16
資産合計	2,590	2,074	516

貸借対照表（負債・純資産の部）

（百万円未満切捨）

	平成23年3月31日 （当事業年度末）	平成22年3月31日 （前事業年度末）	増減額
負債合計	358	287	70
流動負債	350	287	62
固定負債	8	—	8
純資産合計	2,232	1,787	445
資本金	553	524	29
資本準備金	523	494	29
利益剰余金	1,183	800	382
負債純資産合計	2,590	2,074	516

キャッシュフロー計算書

(百万円未満切捨)

営業CF

457

投資CF

558

財務CF

57

期中増減額

1,073

期末残高

1,492

配当について

- 平成21年5月8日開示の通り、経営安定化のために内部留保資金を優先し、無配継続
- 内部留保した資金は、研究開発、製品開発、並びに販売強化、新分野への進出のための合併・買収等に積極的に活用し、業績拡大を目指す

製品分野別動向 と取り組み

第4四半期の状況

- 人気タイトルによるロイヤルティが引き続き堅調
- ニンテンドー3DS発売により当社ソフト搭載タイトル減少始まる

通期の状況

- 第3四半期に新機種向けロイヤルティを一括計上した影響で期初売上見込みを上回る
- ニンテンドー3DSへの搭載は従来機との互換機能に限定される

次期に向けて

- ニンテンドー3DS本体及び専用ゲームタイトルに関しては追加のロイヤルティ見込みなし
- ニンテンドーDS向けゲームタイトルのロイヤルティは今後も継続するが、売上高の減少を見込む

第4四半期 の状況

- 大手家電メーカーの液晶テレビ及びBDレコーダー向けロイヤルティが減速しつつも堅調に推移
- 放送事業者向けやデジタル家電向け等の受託開発が売上に寄与

通期の状況

- 家電エコポイント効果によりデジタル家電向けロイヤルティが好調、受託開発案件も堅調
- 売上高は期初計画及び前期を大幅に上回る

次期に 向けて

- デジタル家電への継続採用、採用拡大を目指して開発継続
- ワイヤレス分野での新規格対応など開発を加速

第4四半期の状況

- 産業業務用分野で新規案件獲得
- 国内大手2社のデジカメ春モデルに採用され、採用機種が5機種に拡大

通期の状況

- デジタルカメラ向けのロイヤルティが収益に寄与し始める
- DeviceSQL R5.0のリリースにより新規分野への拡販を狙う
- 新規案件獲得が低調であったことなどにより、売上が期初見込みを下回る

次期に向けて

- デジタルカメラ分野での採用拡大に注力
- より上位層のアプリケーションソフトウェアと組み合わせることで拡販を狙う

第4四半期の状況

- 中・大型案件での評価実装を継続し、SDKの販売や受託開発で売上計上
- 対応CPUの拡大のための開発継続

通期の状況

- 予定数量は多くないものの量産製品における採用が決定し、複数社との評価実装を継続
- 評価実装の拡大に伴い、対応すべき技術課題が発生し、事業進捗には遅れがみられる

次期に向けて

- 量産ロイヤルティ獲得は下期以降の見込み
- 優先度の高い案件の評価実装を確実に成功させ、量産製品への搭載拡大を目指す
- 開発体制を強化し、対応プラットフォームの拡大、使い勝手の改善などを行う

H24年3月期の 業績予想

体制の変更

■ 3/1付で代表取締役変更

- 技術を売る会社として、技術開発及び顧客対応を強化するため

■ 新社長としてのミッション

- 創業10周年を迎え、これからの10年のユビキタスを「第二創業」する
- 日本発の技術で世界をめざす
 - 「モノ」と「モノ」がつながるユビキタス・ネットワーク社会の主導権を取る

H24年3月期（第11期）の位置づけ

次の10年の飛躍に向けた
事業拡大への仕込みの年

ゲーム分野の減収、震災の影響やエコポイント効果の反動減により
減収を見込む

第二創業に向けて積極投資を行う

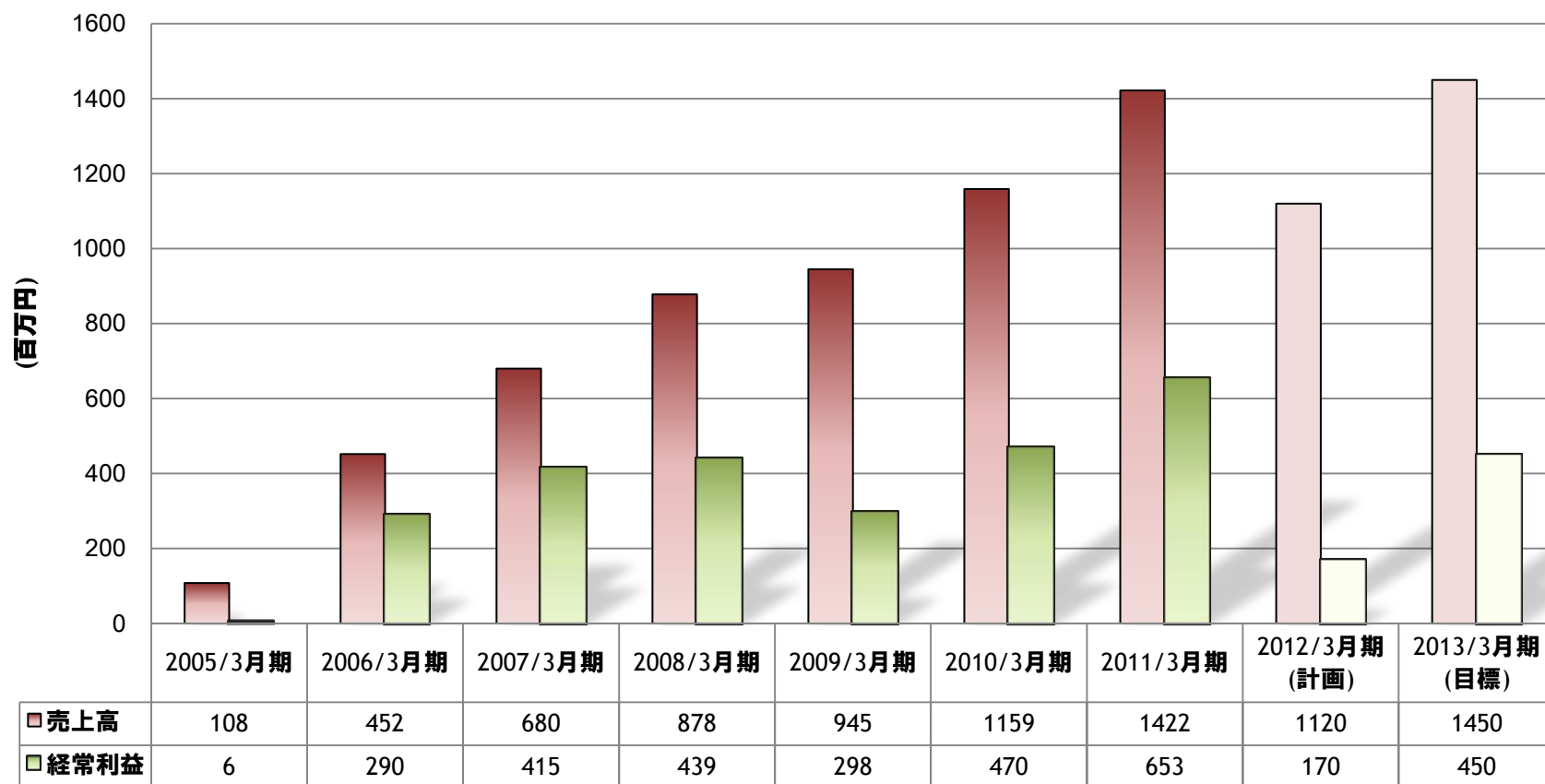
新規事業領域へ

- Webサービスとの連携

組込みソフト分野の 市場拡大へ

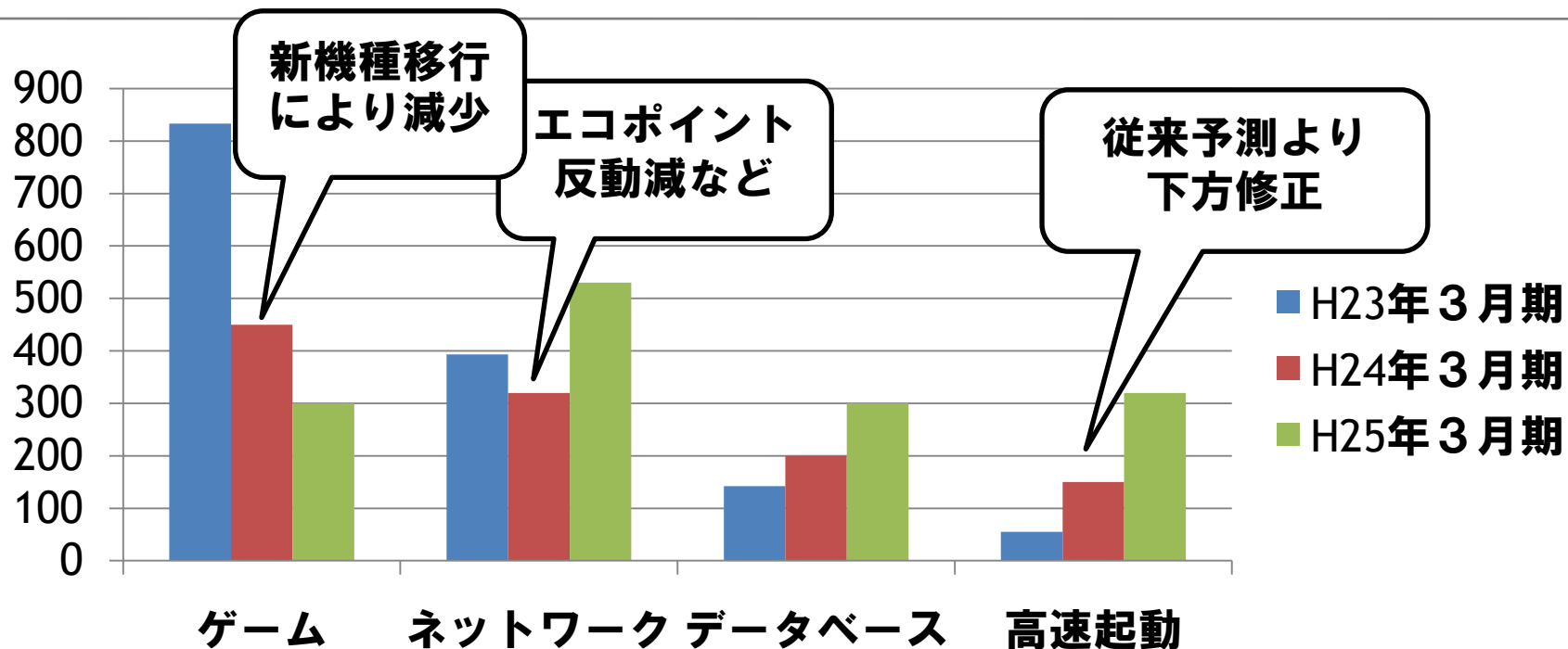
- 高速起動の収益化
- 海外展開

売上高・経常利益の推移



- ・ H24年3月期(計画)：売上高1,120 経常利益 170へ下方修正
- ・ H25年3月期(目標)：売上高1,450 経常利益 450へ下方修正

製品分野別売上高推移



単位(百万円)	H23年3月期 (実績)	H24年3月期 (計画)	H25年3月期 (目標)
ゲーム	833	450	300
ネットワーク (ゲーム以外)	393	320	530
データベース	142	200	300
高速起動	55	150	320

ネットワーク事業拡大への取り組み

“Smart Living”



コンセプト展示側イメージ

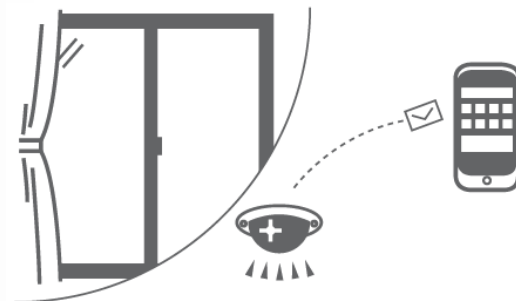
ユビキタスの ” つなぐ “ ソリューションにより
実現する3つの新しいライフスタイルをご提案

- 1)ホームセキュリティソリューション
- 2)デジタルコンテンツソリューション
- 3)節電ソリューション

3つのソリューション

1) ホームセキュリティソリューション

無線LAN+振動センサー、赤外線センサー
でホームセキュリティを実現



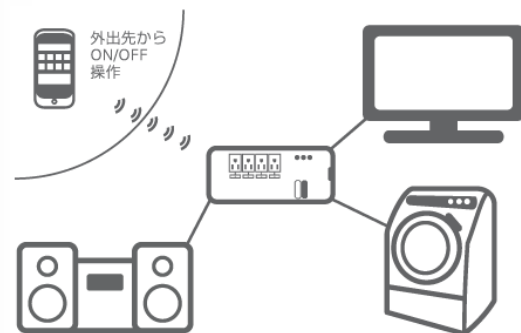
2) デジタルコンテンツソリューション

タブレット・スマートフォンと
ホームネットワーク機器を連携



3) 節電ソリューション

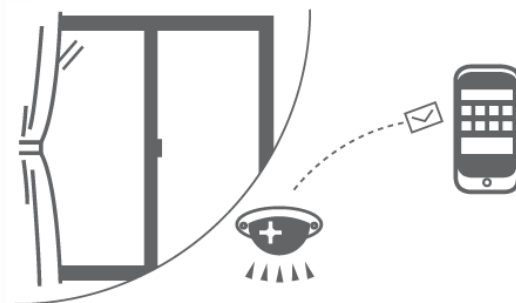
昨秋から開発に着手 そのままでは見えない
「節電」をネットワークの技術で、いかに
“見える化”を実現するかがテーマ



ホームセキュリティ

1) ホームセキュリティソリューション

無線LAN+振動センサー、赤外線センサー
でホームセキュリティを実現



無線LANモジュール
(開発ボード)

AP/インターネット経由で
iPhoneにメール

センサー

節電ソリューション

- 節電の”見える化”を実現する
”iRemoTap”（アイリモタップ）試作開発
- 家庭の省エネ意識と節電を実現する
無線LANモジュール内蔵電源タップ
- Webサービスとの連携で実現



今期の課題と重点施策のまとめ

ネットワーク

- ゲーム以外での無線LAN関連の収益化
- デジタル家電関連の採用拡大
- Webサービスと連携する新規事業の立ちあげ

データベース

- デジタルカメラ向けの採用拡大、対象マーケット拡大

高速起動

- 大型案件の量産採用を確実にすること
- 開発人員の強化、対応プラットフォームの拡大



Ubiquitous

株式会社ユビキタス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト16F TEL:03-5908-3451 FAX:03-5908-3452
E-MAIL:sales_info@ubiquitous.co.jp URL:www.ubiquitous.co.jp Ubiquitous Corporation